

第 5 回 清瀬市長期総合計画策定審議会（案）

1 開催日時

令和 7 年 6 月 27 日（金） 18 時 00 分から 21 時 00 分まで

2 場所

清瀬市役所 3 階 庁議室

3 会議内容

(1) 開会

(2) 第 4 回会議の会議録確定

委員の総意により、資料 1 のとおり確定した。

(3) 基本理念について

事務局から資料 2-1、2-2 について説明し、以下のとおり各委員から意見があった。

ア 基本目標「一人一人の学びと学びあいの支援」は、「一人ひとりの学びと学びあいの支援」にした方が読みやすいと思う。

イ 将来像 2～4 は、市民に投げかけるような文末表現だが、将来像 1 の「思いやりに包まれ健やかに暮らすきよせ」だけ「暮らす」と力強く、市の意志を感じるような表現だが、ここだけ変えている意図はあるか

事務局 将来像 1 は「思いやりに包まれすこやか」という”状態”なので、「暮らす」と続く方が日本語的に自然。将来像 3 は「安全・安心・快適」という”条件”なので、条件や可能性を表す「暮らせる」と続く方が日本語的に自然であると考えた。しかし、統一した方が良いなどの意見があればいただきたい。

ウ 「暮らす」と「暮らせる」を統一した方が良いと思う。

エ 「暮らせる」の方が包み込むような感覚をもてる。また、資料 2-2 施策体系案を見ると、一番上に高齢者に関する施策があり、その次に子育てに関する施策がある。上から順番に並べると優先順位のようにも見えてしまうので、工夫できると良いと思う。

会長 施策に関することは、その段階でご意見いただきたい。

オ 「暮らす」と「暮らせる」で意味合いが大きく変わってくる。将来像 1 は「暮らす」、将来像 3 は「暮らせる」の方がしっくりくる。

カ 「暮らす」の方が市としての覚悟を感じてカッコいいなと思う。

キ 「暮らせる」だともう既にできているかのように聞こえる。

ク 将来像 2「子どもも大人も学びあい育ちあうきよせ」は、「子どもも大人も」と「も」が連続になっていて言いにくいのではないかと思う。

事務局 将来像を考えていただくポイントとして、将来像というのは清瀬市の 10 年後の

理想の姿を表している。したがって、市の決意表明としてではなく、「10年後こうなっていたらいいよね」という観点で、「暮らす」がいいのか「暮らせる」がいいのかご意見いただきたい。

ケ 「暮らす」は市民主体の言葉、「暮らせる」は市が何かを与えて市民がそれに乗るというイメージがある。

コ そうすると、将来像3も「暮らす」とした方が良いか。

サ 将来像3の「安心・安全・快適」というのは市民から能動的にはできない。行政が主体となって何か提供しないとできないのではないか。だから「暮らせる」で良いと思う。

シ 将来像に、「誰が」と主語を付けると分かりやすいと思う。将来像1は「市民が思いやりに包まれ健やかに暮らす」。将来像3は「市が、街が、安全・安心・快適に暮らせる」。本当は主語を入れれば分かるが、審議会で主語を考えながら作ったということを広く知らせていけば良いと思う。

会長 「子どもも大人も」を「も」が連続していることについては、どうするか。「子ども」を漢字にするのはありか。

ス 東京都は漢字を使っている。

副会長 「子ども」はひらがなの方が良いと思う。「も」が連続することを避けるのであれば、「子どもと大人が」にすることもできるし、「全ての人が」「全ての市民が」とすることもできるのではないかと思う。

セ 「子どもと大人が学びあう」でも良いのではないかと思う。

ソ 「子どもと大人が」だと子どもと大人の関係性しかない。「子どもも大人も」とすることで、子ども同士大人同士の関係性も表せる。また、子ども家庭庁の考え方を取り入れるためにも、「誰もが」や「みんなが」ではなく、「子ども」という言葉は入りたい。

タ 「子どもも大人も」とすれば「も」が連続することは避けることができる。

チ 「子どもも大人も」のままで良いと思う。

会長 ご提案通りということではよろしいか。

ツ 将来像2「子どもも大人も学びあい育ちあう」の「育ちあう」という表現は適切か。

テ 「育ちあう」は子ども基本法の考え方でよく使われている。「共育ち」など。

会長 それでは、基本目標「一人ひとりの学びと学びあいの充実」とした上で、その他はご提案どおりではよろしいか。

委員 承認

(4) 施策及び施策の方向性について

事務局から資料3-1、3-2を提示し、以下のとおり各委員から意見があり、質問があった場合は事務局が回答した。

ア 清瀬は東西に長い。横に長くて縦に短い感じがする。高速道路に入口があったら良いと思う。清瀬は道が狭く、小学生が歩いているのと見るとすごく危険だと感

じる。また、車を運転していても子どもの姿が見えにくい。将来像にあるように「安心・安全」を優先するのであれば、道路事情について考えていくべき。また、コミュニティバスについても、運転手不足の問題をはじめ、道が狭いこと、時間通りに来ないことなどという問題があるが、10年後を見据えて、輸送問題、交通事情等についても考えてほしい。

事務局 いただいた内容は施策312に含まれる施策の方向性①や②に関する部分だと思う。具体的な取組みは庁内で検討する実行計画において、狭い道路の拡幅など、事務事業レベルで反映できるのではないかと思います。

イ コミュニティバスについて、今後も継続されるのかはわからないが、運転手不足問題、輸送問題等も考えていかななくてはならないし、施策311に繋がってくると思う。

ウ 施策の方向性の文末、「推進します」「目指します」「促進します」「図ります」それぞれに違った意味があるのか。

事務局 現段階で全ての言葉を精査できていない。完成する前に精査はするが、言い回しについてもご意見いただきたい。

エ 第4次長期総合計画を広報で公表した時の内容を見たが、市民目線で「計画の体系→施策→施策の方向性」が明記されたうえで、そのあとに、「施策番号→10年後の姿」という内容であった。「推進します」や「図ります」ではなく、市民目線で、具体的で分かりやすい文言を使うと良いと思う。

オ 施策番号311について、20年前よりは商店街が増え全然違った雰囲気になっている。住んでいる人にとっては逆に不便になった。市がどこまで介入できるのか、土地使用者だけの意向に留まらないかが疑問。

事務局 こういう取組があれば10年後の理想の姿を達成できるのではないかという計画なので、その理想の姿の実現に向けて市は努めていくことになる。

カ 今同時進行で商工振興計画を策定している。その中で、20年前よりも商店街への来客者数が減少しているという現実がある。今後、商店街がどのように賑わいを取り戻すかということが大きな課題になっている。商工振興計画の策定の中で問題となっている現実と長期総合計画が目指す理想の姿とで乖離がある。

事務局 商工振興については、次の将来像4で議論いただきたい。

キ 秋津駅は、おそらく商店街は無くなる。秋津駅の北側については、商工振興計画とは別で、都市計画マスタープランに沿って、都市計画道路の整備等、新しい街のグランドデザインが進んでいく。清瀬駅に関しては、直近の課題は駅舎の更新、それに伴う北口南口それぞれのデザインを見直すこと。そこで創出する人の流れを商工振興計画において、商業、工業、回遊性をどう確保していくかということを検討しなければならない。

ク 施策名について、現行よりも漠然としてしまっている。今後10年何をしていくのか具体的に示した方が良い。

事務局 名称についても修正案あればご意見いただきたい。

会長 「住みよいまちづくり」については一旦終了する。つづいて、「環境にやさしい取

組の推進」についてご意見いただきたい。

ケ 清瀬市は、ごみを他のところで焼却処理しているはず。その改善についてや、他の市町村との連携についてが全く記載されていないが良いか。

事務局 清瀬市は、東久留米市と西東京市と3市で柳泉園という一部事務組合にて焼却していただいている。一部事務組合に向けた支援や連携については、実行計画において事務事業の一つとして記載されることになるだろうと考えている。

コ 施策の方向性が達成された先に10年後の姿が実現するということだと思うが、施策322の「自然と調和したまちの整備」に関しては、10年後の姿が「市民が快適に利用している姿」と「自然環境が適切に保全されている姿」しか書かれてない。施策の方向性②にある、「市民協働による公園・緑地の活用」を行うことで、他にも達成できる姿があるのではないか。

サ 施策322の「自然と調和したまちの整備」の施策の方向性①「公園・緑地を適切に維持管理します」は、他の施策に比べて具体性に欠ける。適切に維持管理する理由だけ書かれていて、どのように適切に管理するかが書かれていない。

シ 施策322は河川についての記載が無いが、施策名が「自然と調和したまちの整備」なので、河川についても記載すべきでは。

事務局 河川については都道府県の管理なので、方向性について記載が難しい場合もあるが、河川に隣接した公園などもあるので、清瀬市としても何ができるか検討したい。

ス 10年後には雑木林が無くなってしまわないかという危機意識をもっている。新座市は平林寺が国の天然記念物になっている。雑木林は30年に1度切って、そこから再生する。それを行っている平林寺ではナラ枯れが起こらない。今の清瀬の雑木林は5～60年切っていないので、次々にナラ枯れが起きてしまい、10年後20年後には雑木林が無くなってしまいうという状況になっている。このような状況を踏まえ、施策の方向性にはもっと危機意識をもった文章の記載があると良いと思った。

セ 下清戸にある雑木林は、植栽事業でナラ枯れだったところに植栽して現在芽吹いている。また、中里一丁目に市の保存樹木があるが、そこにボランティアで実生の苗を植えた。そういう活動を清瀬市でもしているので安心してほしい。

ソ 市内の緑地4.5ヘクタールが東京都の保存緑地に指定されているので、市で萌芽更新できない。東京都の予算で順番に萌芽更新しているところ。また、生産組合でナラ枯れの木も順次伐採処理をしている。萌芽更新と同時に植栽管理も行っている所以緑地の管理については安心してほしい。

タ 施策331の「防災・防犯体制の充実・強化」について、方向性②に「消防団機能の充実・強化を図ります」とあるが、人員確保のことについて、もっと強調して記載してほしい。

チ 施策331について、方向性①に「安心・安全に過ごせる避難所運営の事前準備体制を整備します」とあるが、清瀬市は耐震性が高い建物が多いと聞くので、在宅避難をアピール、推進していくべきだと思う。

- ツ 災害が起こったときの避難所について、主に市民体育館や学校体育館だとは思いますが、1次避難所・2次避難所がどこなのか、市民に向けて事前に周知すべき。
- テ 施策331の方向性①にて「避難所運営」について記載があるが、安否確認や救助体制など、在宅避難者に対してはどのような対応をするのか記載すべき。
- ト 平成28年に災害時は市内の農地に避難して良いという、協力農地の締結が行われている。井戸に発電機を備えているので、水や照明を使うことができる。そういう部分も市民は知らないと思うので、記載した方が良いと思う。
- ナ 新施策の方向性は抽象度を高め、実行計画で具体的に記載するということを踏まえて意見を述べた方が、会議が円滑に進むと思う。
- 二 施策411に「産業・観光の振興」とあるが、清瀬市は福祉の分野で起業されている方が多い。福祉のニーズが多い自治体だからこそ、福祉に関することを産業として捉えていっても良いと思う。
- ヌ 福祉の産業化について、商工振興計画においても同じような話がある。商工振興計画の中で示していくべきことだと思う。
- ネ 商店街の活性化について、小学生や中学生、高校生がそれぞれアイデアが出せば面白いと思う。賑わいを生むために、子どもたちが活動するのも面白いと思う。
- ノ 清瀬の枠に囚われないで、他の自治体と一体となって考えていったら面白いと思う。
- ハ 商工会では他自治体の連携も進んでいる。企業誘致に関して、埼玉県と協働して何かできないか検討している。
- ヒ 施策421について、方向性②に「コンパクトシティを推進します」とあるが、コンパクトシティが具体的に何を示すのか記載した方が良いと思う。
- フ 施策421の方向性④について、都市高速鉄道12号線延伸のほかに、例えばどこかに新駅を作るなど、他の取組について分かるような書き方にしてほしい。また、市内では、商業施設やスーパーが欲しいなどの声がある中で、方向性②の「コンパクトシティを推進します」という書きかただと分かりにくいので変えてほしい。
- ヘ 施策422について、清瀬市は医療のまちだが、貴重な松があると思う。施策を検討する中で、その歴史を継承するために、結核療養所だった場所を活用していくことなどについて記載してほしい。
- ホ 施策422について、清瀬市でそのような自治が行われてきたかを考えていくことは重要なので、基本計画に項目があるのは良かった。
- マ 施策421の方向性③について、「地域の特性に応じた企業の誘致を検討し」ではなく、「地域の特性に応じた企業を誘致し」に変えた方が良いと思う。
- ミ 施策421の方向性③について、もう少し強い意思をもって、「誘致します」などと表現しても良いと思う。
- 施策431の方向性①にある「育児・介護との両立」については、③に入れた方が良いと思う。
- ム 施策431の方向性③にある「ワーク・ライフ・バランス」について、東京都に

合わせて「ライフ・ワーク・バランス」とするのはどうか。

- メ 施策４３１について、現代社会では共働きが進んでおり、共働きの場合、子どもと過ごす時間、喜びを感じる時間が減っている。「仕事や生活に喜びを感じていただける」というような文言を入れるのはどうか。
- モ 施策４３１について、他の自治体と同じようにするのではなく、清瀬の特色を入れるべきだと思う。
- ヤ 施策４３１について、「戦略的に人材の確保に努めます」は違和感がある。清瀬で働いてくれる人を大事にして、清瀬で働くことを誇りに思うように支援してほしい。また、意欲のある人を集めて、その意欲を更に高めていくという表現にするのはどうか。
- ユ 施策４３１について、「職員が力を発揮できる組織づくり」を基本計画に入れることについて違和感がある。
- ヨ 施策４３１について、インバンドも増えている中で、市の職員に対し、海外も含めた多様な研修が必要だと思う。
- ラ 施策４３１について、現在も職員に対して様々な取組をしていると思うが、思い付きではなく市のためになることをやっているということがわかるように記載したら良いと思う。「戦略的に」ということよりも、「これだけのことを市の活力のためにやっている」というような書き方にすると良いと思う。
- リ 施策４４２の方向性①について、市民に周知するだけではなくて、市民の意識を引き上げることが重要。
- ル １０年後の姿と現状を比較できれば、施策の方向性について過不足が無いかがわかるが、現状についての資料が無いので、論点が分からず意見が言えなかった。

事務局 現状について追記した資料を用意する。

(5) その他

今後のスケジュールを伝え、閉会となった。